

試験日 : 2024年11月10日  
入試種別 : 2025年度 3年次編転入学試験問題  
学部・研究科 : 社会学部  
科目名 : 外国語(英語)

問1 下線部(1)の具体例として最も適切なものを1つ選びなさい。

C. ネイティブスピーカーのように話すことができること

問2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。

早い年齢の段階で第2言語の学習を開始した人は、母語話者とほぼ同等になる傾向にある。

問3 下線部(3)first languageとは何か、最も適切なものを1つ選びなさい。

生まれて最初に、自然に覚えた言語

問4 下線部(4)はどのような意味なのか、日本語で答えなさい。

そのコミュニティの中で主流ではない(社会的に優位ではない)言語で育った背景を持つ子ども

問5 空欄(5)に入る最も適切なものを1つ選びなさい。

**A. who can begin their schooling in a language they already know**

B. who can read and write in a foreign languages at home

C. who can speak to their friends in a second language outside the school

D. who can start learning a second language in their school

問6 空欄(6)に入る最も適切なものを1つ選びなさい。

**C. of**

問7 下線部(7)For these childrenが指す子どもは、どのような子どもか。パラグラフの内容に沿って日本語で説明しなさい。

母語による教育を受けることができない子どもたち

問8 空欄(8)に入る最も適切なものを1つ選びなさい。

**C. where**

問9 下線部(9)の根拠を、パラグラフの内容に沿って日本語で説明しなさい。

年齢が高いこどもは、週に数時間程度の教育を受けるだけでも、もっと若い時から第二言語の学習を始めたこどもに早く追いつくことができるため。

問10 下線部(10)は、「残念なことに、この点に関して彼らの言う通りであることが多い。」

という意味であるが、「この点」とは何を指すか。日本語で答えなさい。

週に1、2時間の学習を数年続けたとしても大した進歩もせず、なかなか熟達した言語話者になることができないという失望感を覚えること。

問11 C

問12 A

問13 C

問14 D

問15 D

問16 A

問17 B

問18 A

問19 D

問20 B